

第359回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 令和元年6月24日（月）午前11時より
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 7人 出席委員 6人

出席委員

若杉 隆平	委員長	田村 明子	副委員長
飯塚 智	委員	増満 浩志	委員
野内 隆裕	委員	柳川かおり	委員

会社側出席者

代表取締役社長	務台 昭彦
常務取締役放送本部長	竹石 尚史
報道制作局次長兼制作部長	羽田 朗
事務局	山崎 学 小野塚由起子
	吉田 康宏

4 議 題

1) 番組合評

「セッキンー新潟5 d a y s」

[放送：平成 31 年 3 月 31 日(日)16:55-17:25]

(説明：番組プロデューサー 羽田 朗)

2) 会社報告

① 5 月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)

② 講じた措置、公表など定例報告等 (報告：番組審議会事務局)

3) その他

5 審議の概要

会社側から「セッキンー新潟5 d a y s」という番組は「知っているようで知らない新潟にセッキンする5日間」を描くというコンセプトで3ヶ月に1回制作・放送している番組であり、今回は岩室温泉の女将さんに密着した。これまでの温泉旅館の固定概念を打ち破ろうと次々と大胆な発想で新しい企画を打ち出してきたこの女将さんにセッキンすることによって、その魅力的な人柄に加え、今温泉地が抱えている現状と課題、あるいは将来に向けた可能性を観ている人に伝えられるような番組を作りたいという想いで制作した、という説明があった。

(委員の意見)

- 岩室温泉は近いが、近いが故にあまり行くことがなかったので旅館の女将さんの仕事や裏側を見ることが出来て楽しく見ることが出来た。女将さんという仕事は接客という面ばかりが目につくが、経営者としての側面もあるのだということが知ることが出来た。

- 女将さんを取り囲む従業員や家族などの話なども聞いてみたいと思った。
- 非常に興味深く見る事が出来た。自分の温泉旅館だけでなく、俯瞰に地域を見て、まずは自分でやってみるという行動力で地域のプロデューサーとして一歩前に進んで活動している女将さんの姿にパワーをもらった気がする。
- 地域の活性化に取り組む女将さんを分かり易く紹介した番組だと思った。
- 今の時代の先頭に立っている女将さんを見ていてこちらも元氣させられた気分になった。
- ネットでは伝えきれない社会の悩みや課題をこの女将さんを通して番組化し、視聴者に伝えたということは意義深いことだと思う。
- 文字スーパーが小さく、情報として伝えるには時間が短いと感じた。また、文字スーパーの使い方が不十分なところがあったのでマスメディアとして注意した方が良い。
- 「5 d a y s」という構成がうまくはまった番組だったと思う。テンポが良く、各日ごとの内容が見ている側にスムーズに伝わったのではないかと思う。
- 番組内で岩室温泉の風景を差し込んで良かったと思う。
- 女将さんの頑張っている姿だけでなく、その笑顔に隠された本音や悩みを引き出して欲しいと思った。
- 女将さんの「岩室と弥彦は近くて遠い」という言葉は見過ごせない課題だと思う。
- 見応えがあり、色んな人が自分に置き換えて考えてみる事が出来る多面性がある番組だと思った。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

5月 …… 85件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(令和元年5月27日)から、昨日(令和元年6月23日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回第358回審議会では、「世界へ届け!慰霊と平和への祈り ホノルルに咲く長岡花火」を審議いただき、委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

8 今回の第359回放送番組審議会の公表

1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。

2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

3) TeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項(委員への配布資料)

- ・5月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・民間放送新聞(6/3、13号)

以上